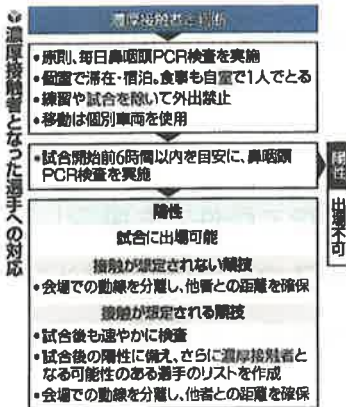


【独自】濃厚接触の選手、6時間前にPCR陰性なら出場可能に…政府・組織委方針

7/15(木) 23:48 配信 3982



読売新聞 オンライン



(写真：読売新聞)

政府と東京五輪・パラリンピック大会組織委員会は15日、新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者と判断された選手について、試合直前のPCR検査で陰性の場合には出場を認める方針を固めた。国内では濃厚接触者は14日間の待機が求められており、特例的な対応となる。

【写真】2回目のワクチン接種後の副反応、予想以上に年代間で差

政府と組織委が作成した対応方針によると、濃厚接触者と判断された選手には原則、毎日、鼻の粘液を採取する鼻咽頭PCR検査を実施する。その上で〈1〉個室で滞在、宿泊〈2〉練習や試合を除く外出禁止〈3〉食事は自室で1人で行うこと——などを条件に試合、練習への参加を許可する。

さらに、試合開始前の6時間以内を目安に検査を行い、陰性の場合のみ出場できるとした。練習や試合の会場では動線を分けて他の選手らと距離を確保する。

これに加え、柔道や野球、サッカーなど選手同士の近接・接触が想定される競技の場合は試合後も検査を実施。陽性判定に備え、試合でさらなる濃厚接触者になり得る選手らのリストを作成しておくとした。

濃厚接触者の判断は保健所が、試合出場可否の判断は組織委が、それぞれ行う。

大会の新型コロナ対策指針「プレーブック」に違反して濃厚接触者となった場合、練習や試合への参加は認めないことも明記した。

プレーブックでは、濃厚接触者でも一定の条件下で競技復帰が認められ得るとの趣旨の記載があり、政府や組織委で具体策を検討していた。

今回明らかになった基準で選手らの感染拡大を防げるかどうかは、未知数だ。

新型コロナの潜伏期間は1～14日とされ、検査時期によっては十分なウイルス量がなく、感染者でも陰性になることがある。現在、国内では濃厚接触者がPCR検査で陰性でも、14日間の自宅待機が求められるのはこのためだ。

政府や組織委内では当初、濃厚接触者の選手は、最大6日間は出場を認めない厳しい基準を検討していた。しかし、濃厚接触者が続出すれば大会の混乱も予想されることから、選手の出場機会の確保を優先させることにしたとみられる。

東京医大病院渡航者医療センターの浜田篤郎特任教授は「PCR検査で陰性でも感染していないとは言い切れない」とする。ただ、感染者でも陰性ならウイルスの排出量が少ないと考えられ、「試合でほかの選手などに感染させる可能性は低いとみられる」と話す。

五輪コロナ対策「バブル」崩壊で外出横行 玉川徹「もともと無理なんですよ」

2021年07月15日12時59分

「もともと無理なんですよ、そんなことは、だからいろいろ起こる」と、玉川徹（テレビ朝日コメンテーター）が放り投げるように言うのは、東京オリンピック・パラリンピックの大会関係者・選手やメディアの「ルール破り外出」だ。



五輪関係者の「バブル方式」が



■ 視聴者メール「報道関係者は外出し放題」

「モーニングショー」が街に出て取材してみると、東京・品川では「さっき到着したばかりの大会関係者が、宿泊のホテルからたくさん出てきました。IDカードを首から下げています。コンビニに入っていきますね」（リポーター）、この8人組は出てくるときにはビールのようなものが入ったビニール袋をもっていた。

大会組織委員会の「ブレーブック」では、入国から14日間は特別な事情がない限り、食事は大会施設や宿泊施設のレストラン、ルームサービスかデリバリーに限られ、外出も制限されているが、そんなことはまるっきり無視だ。きのう14日（2021年7月）の野党合同ヒアリングでも、「アフリカの大会関係者が入国当日に築地を歩いていたという報道がある」「ホテル内辺を散歩しているというが…」と明らかにされた。

番組への視聴者メールには、「都内のホテルに勤めていますが、報道関係者は外出し放題です。一般の方からクレームの電話がたくさん入っています」「豊洲在住ですが、外国人であふれています。自粛もなにもあったものじゃありません」と、「バブル方式」（海外からの選手や関係者、メディアを外部と接触させない）が機能していないことは明らかだ。

■ 「今後は、夜の街に出ていく人もいると思うな」

しかし、IOCのバッハ会長は無責任なもので、「違反があったという報告は受けていない」とルールを徹底しようとしらない。

石山アンジュ（「ハブリックミーツィノベーション」代表）は「開会式まであと1週間でごちまで改進黨が打ち出せるか、このまま進んじやないかと思ってしまうですね」と心配する。

玉川はあきれ顔でこういう、「ワクチン打っている人たちが多から、安心して外へ出ちゃうんですよ。今後は、夜の街に出ていく人もいると思うな」

海外メディアからは、組織委の取材規制は強すぎて「五輪憲章に反する」と反発が強い。端から「ブレーブック」を守る気のない記者もいるだろう。玉川が言うまでもなく、「はじめから無理」なのだ。

（カズキ）

○オランダのメディア関係者

(「プレブックは読みましたか」という質問に対して) いいえまだです。IBC(国際放送センター)までのくらいか見に行くところです。

○アフリカの大会関係者(築地にて)

(「いつ入国したのか」という質問に対して) けさの2時です。きょうは仕事がない日でこの地区に何があるのか見に来ました。

(ナレーション: プレブックでは14日間以内の観光は禁止されていますが…)

ずっとホテルの中にいたのでちょっと足をのぼそうと歩いているだけ。

(このあたりで食事をしたいですか?という質問に対して)

いいえ、今日はそのつもりはありません。

○大会関係者を受け入れているホテルへの取材

<ナレーション>

東京品川区のこちらのホテル。今月から大会関係者の受け入れを始めました。早速監督者について聞いてみると。

<ホテル支配人>

(大会関係者の)外出を判断する人。

<取材チーム>

それはどちらから?

<ホテル支配人>

組織委員会です。

<ナレーション>

ロビーには組織委員会から派遣された警備員が「監督者」として常駐。関係者の外出をチェックするといいますが、あくまでも自己申告で帯同することもないと言います。

<組織委員会から派遣された警備員>

声をかけること自体がないので、聞かれることに答えるだけ。

<ナレーション>

期間中関係者も含めて最大400人以上が宿泊するこちらのホテル。朝食会場は、今は一般の宿泊客と関係者が同じ場所を利用しています。

<ホテル支配人>

朝食とかは利用する。(一般客と)一緒になっている。用意するスペースも限りある。

<ナレーション>

夕食は今のところほとんどがデリバリーなどを利用しているといえます。しかし大会関係者がコンビニを利用するなど外出する場合、自己申告を信じるしかないのが実状です。

<ホテル支配人>

フロントに声をかけないまま出ていった場合は、われわれは止められない。

来日選手ら6人 コロナ感染

東京五輪・パラリンピック組織委員会が15日、海外から来日した選手ら6人の新型コロナウイルス感染を確認した。ブラジル代表の選手4人と、ロシア代表の選手2人。組織委は「個人の特定につながらず」として、陽性者の国・地域・競技・年齢・性別といった情報を明らかにして公表する。15日もリストが更新され、選手1人と大会関係者1人、業務委託スタッフ4人の計6人の感染が明らかになった。組織委は「個人の特定につながらず」として、陽性者の国・地域・競技・年齢・性別といった情報を明らかにして公表する。15日もリストが更新され、選手1人と大会関係者1人、業務委託スタッフ4人の計6人の感染が明らかになった。組織委は「個人の特定につながらず」として、陽性者の国・地域・競技・年齢・性別といった情報を明らかにして公表する。



羽田空港に到着した東京五輪のブラジル選手団＝15日午後

組織委、国籍・競技公表せず

自治医科大学の中村好一教授（公衆衛生学）は「感染拡大の防止という観点で非常に問題。国籍や競技名は公益性のある情報で公表すべきだ」と指摘。国際医療福祉大の和田耕治教授（公衆衛生学）は「組織委が何か隠しているのではないかと疑われ、国民の信頼を失いかねない。非公表の理由をもっと明確に示す必要がある」と訴える。

専門家批判「公益性高い情報」

来日した選手団を巡っては、6月にウガンダ選手団の1人が、今月に入ってセルビアの選手1人の陽性がいずれも空港検疫で判明。ウガンダ選手団は事前合宿地の大阪府泉

佐野市でもう1人の陽性が分かった。ウガンダの例は内閣官房と泉佐野市が、セルビアは厚生労働省が明らかにした。一方、選手村や組織委監督下のホテルに入った後や、選手村に直接入る人の空港検疫は組織委の発表となり、情報公開の幅が狭まる形となる。専修大の山田徳太教授（言語学）は「組織委は極めて公的な性格が強い団体。情報公開の対象になってもおかしくないのに、公開が不十分であるばかりか、意図的に隠すかのような動きをしている」と懸念する。「『失態』を隠すために後ろ向きだとすれば、重大な問題だ。運営の詳細がきちんと文書に残されているのかをメディアは監視する必要がある」

東京五輪の



無観客。出席する大会関係者も1000人以下の規模に圧縮

入場行進

行進の選手削減。役員は各国・地域6人
行進は選手の距離を



行進時間が長くなり、式典を30分延長
各国・地域の旗手、平等の観点から男



報道陣専用パングルとマスク、国メディア関係者、東京都内（AP）

PC

ホテル隣のオフィスビルが隔離期間中に自室から眺めることのできる「唯一の外の景色」と伝えた。（共同）

きのう

○内は平年。湿度、天気は15時。最高15時、最低9時まで

	最高	最低	湿度	天気
京都	32.1 (31.9)	23.1 (23.6)	52	曇
神戸	32.0 (30.5)	23.4 (22.2)	60	曇
横浜	29.0 (30.0)	23.0 (22.9)	77	曇
札幌	29.9 (25.1)	18.3 (17.6)	57	曇
仙台	31.9 (26.7)	21.9 (20.2)	57	曇
秋田	26.1 (26.2)	21.0 (19.9)	77	曇
東京	31.1 (29.8)	23.0 (22.3)	65	曇
長野	30.7 (29.4)	22.0 (20.3)	64	曇
名古屋	28.7 (31.3)	21.4 (23.5)	91	雨
金沢	31.9 (29.2)	24.1 (22.7)	72	雨
大阪	31.3 (31.7)	20.9 (24.6)	57	雨
岡山	30.0 (31.7)	23.8 (23.4)	74	雨
広島	31.9 (30.9)	24.9 (24.1)	60	雨
松山	31.8 (29.5)	24.1 (22.6)	91	雨

きよりの天気

16日は、湿った空気や上空の寒気の影響を受ける。全般に曇が多く、雨や雷雨になる所があるだろう。急な強い雨や落雷に注意。



京 舞 京 日 六

(21.7/16 京都)

五輪コロナ対策 緩さに驚き

「驚愕した」「ホテルを出れば監視はない」。東京五輪の開戦が迫る中、来日した海外メディア関係者が、組織委員会が新型コロナウイルス対策として求めるPCR検査や、日本到着後3日間の隔離の体験談を動画などで報告している。一部記者からは対策の緩さに驚きの声が上がった。

厳格な措置で感染を抑え込んでいる中国の国営通信、新華社の記者はPCR検査の唾液採取や検体の提出を自ら行うことに着目。11日に自社入りに掲載した動画で「これほど重要なことなのに、ここらでやり方だいいのだろうか」と訴えた。中国ではPCR検査は重要視され、感染者が出た都市で



報道陣専用バスの車内でゴーグルとマスクを着ける中国メディア関係者＝14日、東京都内(AP＝共同)

来日記者が動画で体験談「監視ない」PCR「本人任せ」、ホテル隔離「監視ない」

全住民を対象に検査を行う場合、医療従事者らが多数動員され検体の採取などを担当する。新華社記者は、本人に委ねる日本のやり方が信じ難い様子だった。

韓国紙・毎日経済新聞の記者は、都内のホテルでの隔離生活をレポート。警備員に報告すれば15分以内のコンビニでの買い物が可能になると紹介し「ホテルを出れば、どこへ行くのが監視する人はいない」と指摘した。感染者が増加している韓国は、首都圏で午後6時以降に3人以上が集まる私的な会合を禁止。同紙記者は、東京都緊急事態宣言下にもかかわらず、人がレストランに並ぶ姿を簡単に見られると伝えた。

一方、ロイター通信の記者はホテル隔離を「厳格」と表現。PCR検査のほか、体温など日々の健康状態をスマートフォンの感染対策アプリに入力しなければならないとした。ホテル隣のオフィスビルが隔離期間中に自室から眺めることのできる「唯一の外の景色」と伝えた。

(共同)

耕治教授(公衆衛生学)は「組 佐野市でももう1人の陽性が分

SOCIAL

Places to eat

- For the first 14 days
 - As there is an increased risk of infection when eating meals with others, you should avoid doing so, especially with Games participants who have been in Japan for more than 14 days, and residents of Japan
- You must only eat in one of the following places, where COVID-19 countermeasures are in place:
 - Dining facilities at Games venues (as the preferred option)
 - Your accommodation's restaurant
 - Your room, using room service or food delivery
- Should these options not be available
 - You can buy food at convenience stores and takeaway restaurants indicated by Tokyo 2020, that you can get to without using public transport
 - The means of accessing and behaviour in these locations will be checked by Tokyo 2020 to ensure they comply with COVID-19 countermeasures, in particular physical distancing and hygiene
 - You should follow the guidance of Tokyo 2020 on measures to avoid contact with residents of Japan and Games participants who have been in Japan for more than 14 days
 - Where necessary, Tokyo 2020 may use GPS as a supplementary tool to confirm your movements (subject to your consent), or direct supervision
 - Use a private room in a restaurant that can be accessed in a manner compliant with COVID-19 countermeasures
 - Tokyo 2020 will require hotels to provide enhanced room service and grab and go options

出所: The Playbook - Olympic and Paralympic Family (June 2021 Version 3)
 (公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会)

食事ができる場所

最初の14日間

- 他の人と食事をするときは感染のリスクが高まるため、特に日本に14日以上滞在しているゲーム参加者や日本の居住者の場合は感染を避ける必要があります。
- COVID-19対策が実施されている次の場所のいずれかでのみ食事をする必要があります。
 - ゲーム会場のダイニング施設(推奨オプションとして)
 - あなたの宿泊施設のレストラン-ルームサービスまたはフードデリバリーを使用した部屋
- これらのオプションが利用できない場合
 - 東京2020に指定されたコンビニエンスストアやテイクアウトレストランで、公共交通機関を使わずに行ける食品を購入できます。
 - これらの場所へのアクセス手段と行動は、東京2020によってチェックされ、COVID-19対策、特に物理的な距離と衛生状態に準拠していることを確認します。
 - 15日以上日本に滞在している日本居住者およびゲーム参加者との接触を回避するための措置については、東京2020のガイダンスに従う必要があります。
 - 必要に応じて、東京2020は、GPSを補助ツールとして使用して、移動を確認したり(同意が必要)、直接監督したりする場合があります。
 - COVID-19対策に準拠した方法でアクセスできるレストランの個室を使用する
 - 東京2020は、ホテルが強化されたルームサービスとGrab and Goオプションを提供することを要求します

パネル写し

出所: 上段よりGoogle翻訳を利用し山井事務所にて作成

議題1. 東京オリパラのプレイブック等について

問6 オリパラ事務局へ。五輪関係者が、コンビニや個室レストランに行く際の手続きはどのようなものですか。「オプションが利用できない」ことの承認は誰が、どのような基準で行いますか。承認は食事や外出の事前に行いますか。事後に行いますか。承認無くコンビニや個室レストランに行けば罰則がありますか。

問7 オリパラ事務局へ。事前承認の手続きはプレイブックに書かれていませんが、事前承認が必要なら、プレイブックにそのことや罰則を明記しますか。もし明記しないなら、事前承認は不要と理解してよいですか。

(答)

- プレイブックのP36においては、“The means of accessing and behavior in these locations will be checked by Tokyo 2020 to ensure... (以下略)” (これらの場所への移動手段及び行動は組織委員会によってチェックされる)とされており、事前承認がなければ組織委員会は“The means of accessing and behavior”をチェックすることができないことから、事前承認が必要とされており、事前の承認がなかった場合はルール違反として、罰則の対象となると承知しています。

問 13 組織委員会、オリパラ事務局へ。五輪関係の外国人記者は、15分以内ならコンビニに自由に行ける、と記事に書いてあります。15分以内ならコンビニに行けるというルールは、入国初日から2週間以内の五輪関係の外国人記者や記者以外の外国人五輪関係者にも適用されますか。オリパラ事務局に、このルールの提示を求めます。五輪関係者のマスコミ外国人のコンビニ利用についてのルールの英文と、可能なら日本語訳も、ご提示ください。(当該記事を別紙にてお送りいたします)

(答)

○ 組織委員会に確認したところ、そのようなルールはない、と伺っております。

問 12 これまでオリパラ関係者がコンビニと個室レストランに何件行ったのか、説明してください。

問 14 五輪関係者が来日初日以降、例外的にコンビニやテイクアウトレストランを利用する場合、事前承認が必要で、7月1日以降の承認件数は、『確認中』とのことですが、何件ですか。5日間、回答を待っていますが、確認に時間がかかるほど、承認件数が多いのですか。

問 15 利用可能なコンビニやテイクアウトレストランが事前に登録がされているとのことですが、その店舗数は、何カ所ですか。そのリストをお出し下さい。差し支えのある部分は黒塗りで構いません。

(答)

○ コンビニエンスストアや持ち帰り用レストランについては、宿泊施設の補完的な機能として、組織委員会が指定するものであり、監督者の帯同等のもと、感染症対策を講じた上で、条件を満たせば利用が認められるものであることから、全数的な調査はしないものと承知しております。なお、プレーブックに基づき組織委員会が指定するコンビニ等については、現在、組織委員会において精査が行われているものと承知しております。